

氏名	辻 一 城
学位の種類	医学博士
学位授与番号	博 甲 第 896 号
学位授与の日付	平成 3 年 3 月 28 日
学位授与の要件	医学研究科内科系小児科学専攻 (学位規則第 5 条第 1 項該当)
学位論文題目	ファンコニー貧血に自然発生する特異的染色体切断点の悪性腫瘍発生における意義
論文審査委員	教授 難波正義 教授 赤木忠厚 教授 木村郁郎

学位論文内容の要旨

ファンコニー貧血 (FA) は、汎血球減少、低身長および種々の先天奇形を主要症状とする疾患であり、高率に非リンパ性白血病 (ANLL) あるいは肝癌の合併が認められることが知られている。本研究では、FA がなぜ特定の腫瘍に関連しているのかを明らかにするため、FA 4 症例の体細胞を用いて、マイトマイシン C (MMC) に対する感受性と、自然発生する染色体切断点の分布を検討した。4 症例のうち、急性骨髄性白血病を合併した 2 症例は MMC 無感受性で、他の 2 症例は MMC 高感受性であった。自然発生する染色体切断は、いずれの症例でも正常対照に比し 4 - 5 倍高率で、切断点は染色体上の 16 個の位置に、有意に集中していた。また、これらの切断点を含む染色体再編成が多く認められた。さらに、これらの切断点の多くは、報告されている ANLL の染色体再編成における切断点と一致した。これらの事実は、MMC 感受性は必ずしも FA の好発癌性に関連するものではなく、FA に自然発生する染色体切断点の特異性が、腫瘍発生に重要な役割を果たすことを示唆している。今後、FA に合併した白血病細胞において、これらの特異的切断点の近傍に位置する癌遺伝子の分子遺伝学的検討が必要であろう。

論文審査の結果の要旨

本研究はファンコニー貧血病患者の体細胞の染色体変化と同患者に高発する急性骨髄性白血病 (AML) 発症との関係を調べたものである。その結果、体細胞に高頻度に特異的におこる染色体の変化が AML の白血病細胞にみられる染色体異常部位に有意に一致していた。即ち、AML の発症が染色体の異常に関係することを示唆する価値ある所見である。

よって、本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。